
TOKYO FM と MACLAREN が 「大人と子供が同時に感動できる」ジャズ CD を制作！ CD『MACLAREN with Kids meet Jazz!』 2/21 発売

TOKYO FMとMACLARENは、「大人と子供が同時に感動できる」をコンセプトに制作した本格的なジャズCD『MACLAREN with Kids meet Jazz!』を、2月21日(水)に発売いたします。

このCDは、TOKYO FMの午前中のプログラム「Tapestry」(毎週月～金曜 8:30～11:00)と、音楽プロデューサー「ゴンザレス鈴木」氏のプロジェクト「Kids meet Jazz!」がコラボレートし、英国のストローラー(ベビーカー)ブランド MACLARENの協賛で実施された、昨年末のジャズイベント「MACLAREN presents Kids meet Jazz! for Christmas」の成功をきっかけに制作したものです。

収録楽曲は『Sing Sing Sing (シング シング シング)』『Beauty And The Beast (美女と野獣)』『I've Been Working On The Railroad (線路は続くよどこまでも)』等、スタンダードなジャズナンバーからR&Bの名曲まで、大人も子供も楽しめる曲をセレクトしました。一流のミュージシャンが分かりやすいテーマを子供に媚びることなく演奏した、親子で本格的に楽しんで感動できるジャズCDです。

『MACLAREN with Kids meet Jazz!』概要

- タイトル：MACLAREN with Kids meet Jazz！
- 発売日時：2008年2月21日(木)
- 料 金：¥2,940(税込み)
- 販売・発売：ジェネオンエンタテインメント
- プロデューサー：ゴンザレス鈴木
- 演 奏：Kids meet Jazzバンド
- 収録楽曲：
 1. The Bare Necessities (ザ・ベアネセシティ)
 2. Sing Sing Sing (シング シング シング)
 3. Day 0 (バナナ・ポート)
 4. Cherokee (チェロキー)
 5. It's A Small World (小さな世界)
 6. Tie A Yellow Ribbon Round The Ole Oak Tree (幸せの黄色いリボン)
 7. Isn't She Lovely (可愛いアイシャ)
 8. Beauty And The Beast (美女と野獣)
 9. Take The A Train (A列車で行こう)
 10. I've Been Working On The Railroad (線路は続くよどこまでも)



ジャズイベント「MACLAREN presents Kids meet Jazz ! for Christmas」とは

TOKYO FMの午前中のプログラム「Tapestry」(毎週月～金曜 8:30～11:00)と、音楽プロデューサー「ゴンザレス鈴木」氏のプロジェクト「Kids meet Jazz!」がコラボレートし、MACLAREN協賛で、2007年12月22日(土)に玉川高島屋S・Cアリーナホールにて実施された、親子のための本格ジャズイベント。

このジャズイベントは「子供が騒いでも駆け回ってもOKな、そんな親子のためのホンモノの音楽イベントをやりたい」という一児の母でもある番組プロデューサーの思いがきっかけで実現されたものです。

平原綾香をスペシャルゲストに迎えた同イベントは2公演とも即日完売。大人たちは本格的なジャズに聴き入り、子供たちはステージの前で音楽に合わせて踊るなど、形にとらわれずに、それぞれのスタイルで音楽を楽しみました。

TOKYO FM「Tapestry」とは

恋愛、仕事、育児・・・忙しい毎日の中で、自分磨きを怠らず、時には壁にぶつかりながらも、それでも好きなことのために毎日を一生懸命生きている女性たちのための、くらしのヒントを持ち寄るラジオの中のリビングルームのような番組です。(番組URL <http://www.tfm.co.jp/tps/>)

■ 放送日時：毎週月曜～金曜 8:30～11:00放送 東京ローカル

■ パーソナリティ：西任白鶴(にしと あきこ)

MACLAREN とは

世界で初めて折りたたみ式乳母車(ストローラー)を発明・発売した英国のプレミアムベビーブランド。英国王室をはじめ世界のセレブに愛用され、特にNY・パリ・ロンドン等都市部での人気が高い。日本では2003年に上陸するや、スタイルを大切にするニューラグジュアリー層の爆発的な支持を集め、都心部ではシェア90%に近づく地点が続出しています。

Kids meet Jazz! とは

2005年に音楽プロデューサー・ゴンザレス鈴木氏の呼びかけのもとに集まった、一流ジャズミュージシャンたちによるプロジェクト。「大人と子供が同時に感動できる」新しいジャズのあり方として、大きな評価を受けています。昨年12月までに行われた通算6回にわたるライブでは、のべ1万人の観客を魅了。同タイトルのオムニバスCDもリリースされています。「ドレミの歌」や「ABCの歌」といった子供でも口ずさめるナンバーから、「星に願いを」といったディズニーナンバー。そして、古きよき名曲を通して、楽曲の楽しさだけでなく、楽器の面白さやジャズと一緒に歌う楽しさ、さらには一緒に踊る楽しさをも体感できる、ワークショップとエンタテインメントがひとつになった夢のプロジェクトです。